

100億宣言



世界シェア15%のワイパー関連部品を含む当社部品

- 本社所在地：広島県呉市
- 事業概要：自動車を中心とした金属、樹脂精密小物部品の製造・販売
- 常時使用する従業員：162名
(2024年4月期)
- 現在の売上高：48億円 (2024年4月期)
- 法人番号：1240001026011
- Web：https://sigma-k.co.jp

シグマ株式会社 (自動車部分品・付属品製造業)

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
浜先 克範

人と技術の無限大 - 人に思いを入れ、技術に未来の夢を託し、製造業のあり方に一石を投じる、未来のものづくりを追求

ものづくりの中心は、シリコンバレーでも東京でもありません。
日本の製造業が世界に誇る強みも、乗り越えなければならない課題も、すべては「現場」にあります。
子ども・孫の世代にも、ものづくりで元気な日本でありつづけるため、シグマは、ロボット・IoT・AIといった最先端の技術を活用し、【未来のものづくり】を追求しています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- 以下の取組により、**売上高100億円(2037年)**を目指す
- ・ **世界シェアトップ部品商品群**により、**売上+24億円**
(ワイパー関連、エアバッグ関連など)
 - ・ **次世代モビリティ関連**でのコア技術を活かした顧客との共同開発により**売上+22億円**
 - ・ **自社開発DXシステムの外販**により、**売上+5億円**
 - ・ **検査装置事業のSIer化**により、**売上+5億円**

課題

- ・ 増産を実現するための拠点確保、シェア拡大・賃上げのための売上付加価値比率の10~15%向上
- ・ 冷間鍛造技術の深化、エビデンスにもとづく設計提案を実現するための試験・評価能力の獲得
- ・ 自社開発DXシステムへのAIの導入、社内体制の確立
- ・ SIer初期顧客の絞り込み、設備化する装置のモジュール化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

新拠点の立ち上げ (プロジェクト名: FACTORY X 100)

- 売上+20~50億円を可能とする、AI・IoT・ロボット技術を取り入れた新拠点「阿賀工場」の整備
- ・ 増産に向けた現行本社の2.3倍の敷地の整備
 - ・ 高効率一貫生産設備による付加価値比率の向上
 - ・ 多段大型鍛造設備等による材料歩留まり・生産効率の向上
 - ・ 基幹システム更新・製造業向けAI搭載システムの開発
 - ・ 製品評価試験室の設立

実施体制

経営直下のプロジェクト体制を構築し、週次・月次の会議体を設立して推進

- ・ 営業開発プロジェクト (営業部長)
- ・ 阿賀工場整備プロジェクト (生産技術部長 → メタル事業部長)
- ・ AI導入プロジェクト (デジタル推進部長)
- ・ SIer推進プロジェクト (ANALYZER(株) 営業推進GM) [検討中]

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

会社概要

グローバルニッチトップを志向するものづくり企業。
人に思いを入れ、技術に未来の夢を託し、製造業のあり方に
一石を投じる、未来のものづくりを追求しています。

概要

シグマの特徴



世界シェア15%のワイバー部品を含む当社製造部品



グローバルニッチトップを志向するものづくり企業
2014年 経済産業省「グローバルニッチトップ100選」
2017年 経済産業省「地域未来牽引企業」
2019年 経済産業省「高度外国人材活躍企業50社」、
産業標準化事業表彰「経済産業大臣表彰」受賞³



24時間365日無人稼働の追求
自社独自の設計により、最新技術を取り入れた高効率な生産システムを構築。ロボットやAGVにより各工程をシームレスに結びつけ、モノの動きを最短化



現場に根ざしたDXシステムの内製開発
DX部門が内製開発したシステム SWIPE により、人が「考え」「決め」「動く」ことに集中できる環境を、デジタル技術で実現。現場との対話による作り込みが強い



オープンイノベーションにより複数の新規事業創出
産総研の支援を受けた円筒内面検査装置⁴は、トヨタ様を含め11か国100社460台以上の販売実績。エンジェル投資先の製造業向けカーボンニュートラル支援SaaS開発を支援し、3社7拠点で有償導入中⁵



社員の意欲と成長に投資する教育制度
全社員が3～5年後のなりたい姿を描き目標を立て、人事との面談のうえで教育計画を作成。計画に含めた研修、資格取得などの費用はすべて会社が負担

会社名	シグマ株式会社
所在地	広島県呉市警固屋9丁目2番28号
事業内容	自動車を中心とした金属、樹脂精密小物部品の製造・販売
創業	1937年
設立	1962年
資本金	4,500万円
売上高	48億円(単体)、64億円(連結) ¹
従業員数	162人(単体)、335人(連結) ²

1 24年4月期 2 単体は24年4月期 期中平均(役員を含む)、連結は24年4月期末 3 写真『まち・ひと・しごと創成会議(第17回)』安部内閣総理大臣と意見交換 4 当シグマ株式会社 5 当シグマ株式会社
子会社ANALYZER(株)にて製造・販売 5 2025年4月時点

日本・中国・インドの3拠点体制で、グローバル9,000万台に対する安定供給体制を構築。日本はマザー工場として、「ものづくりの一步先」を追求

人口 自動車1台あたり人口
年間生産台数 年間輸出台数

考え方

- 原則として、消費地において生産
- 自社が得意とする部品に特化し、世界シェアを確保
- グローバル9,000万台をターゲットに、最適な拠点より供給を行う
- 複数拠点での生産を可能にすることで、供給を安定化
- 単独資本で進出し、現地で顧客を開拓
- その国出身者が経営者となり、ローカル企業を顧客にできて本物

希格瑪精密機械(江蘇)有限公司



SIGMA FORGING & FORMING PVT.,LTD



ロイヤリティ・配当

シグマ株式会社

浜先 代表取締役社長



技術支援・投資

資料: WORLD BANK GROUP, JAMA (2023年)。1 24(4)期実績 2 ①シグマ独自の高速率専用設備の開発、②ロボット利用技術とロボットの開発、③検査の簡素化と自動化、④ライン管理・メンテナンス技術の高度化、⑤モノの動きを最短化して待つ・置く・運ぶを最小にすることによるコストと在庫の低減

売上高100億円実現に向けた具体的措置

部品事業の拡大・深化と、新事業創出・高付加価値化により、10ヵ年で売上100億円を達成

補助事業の対象

大枠の考え方

24年度の実績は以下のとおり

- 売上 48億円（連結64億円）
- 税後純利益 3.2億円（連結5.2億円）

30年後にものづくりで元気に日本であり続けるため、以下の2軸で2036年度の売上100億円を達成を目指す

- 部品事業の深化・拡大: 自社の強みの活きる領域に特化し、既存拡大・新規獲得を推進
- 新事業創出・高付加価値化: 自らが直面し熟知している製造の課題へのソリューションを事業化

100億ビジョンにおける「成長の柱」

	背景	狙い	10ヵ年目標 (36年度) 売上
部品事業の深化・拡大	世界シェア A トップ部品商 品群の確立	ワイパーシャフトについては世界シェア15%を有する	44 +24
		冷間鍛造による1秒/個の高効率生産・自社設計による自動化に強み	
	次世代モビリティ B ティ部品品の獲得	金属シャフト形状、樹脂の回転体（例：インペラー）、金属と樹脂の複合成型に強み	+22
		上記をもとに、売上11億円/年規模の案件積上げ済み ¹	
新事業創出・高付加価値化	DXシステムの C 事業化	DX部門が内製で開発したシステム「SWIPE 1.0」により、6,600時間/年、2,000万円/年の工数を削減	+5
		エンジェル投資先とのオープンイノベーションによりCO ₂ 削減支援システム開発・事業化に成功	
	検査装置事業 D Slerla	当社よりスピンオフした子会社 ANALYZER(株)は、円筒内面検査装置のニッチトップメーカーとして、トヨタをはじめ11カ国100社に460台以上を販売。競合時の受注率90%	+5
		検査装置の設備化・システム化を当社にて担い、受注型高付加価値事業とする	

10ヵ年目標 (36年度) 売上合計

100

1 受注確度にもとづく割引後

売上100億円達成のための基盤として、新たに取得した工場用地・建物を活用し、未来のものづくりを体現した「阿賀工場」を段階的に整備

補助事業の目的

1 増産に向けた拠点の確保

- 現有の本社工場（総面積 8,690㎡）は、既存の量産部品で占有されている
- 2.3倍の敷地面積を持つ阿賀工場を段階的に整備し、売上20~50億円レベルの追加増産・新規部品の生産体勢を整える

2 最速レイアウトの追求

- 本社工場は、敷地面積の制約から、前後工程が道路を跨いで分断されているため、社内物流が必要であるうえ、前後工程の掛け持ちができない
- 阿賀工場の広大な敷地を活用し、前後工程を連結した高効率一貫生産ラインを設置することで、30%の労働生産性の向上を目指す

3 冷間鍛造技術の深化

- 当社の特徴である、冷間鍛造加工による高い材料歩留まり・生産効率を更に強化する
- 阿賀工場では、多段大型鍛造設備を導入し、この能力のさらなる拡大を図る

4 AI搭載DXシステム SWIPE 2.0の開発・導入

- 内製開発システムSWIPEでは、これまでのものづくりのデータ収集・管理（生産実績・設備稼働状況・製品トレーサビリティ等）のデジタル化を実現する
- 基幹システムの更新により、周辺システムとデータのリアルタイム連携を実現する
- また、現場で使い切れるUXを備えたAIによる分析・提案により、改善PDCAサイクルの高速化を図る。これにより、阿賀工場の生産性を高め、付加価値を創出する

5 評価・試験能力の獲得

- 設計変更・お客様との共同開発にあたっては、自社の設計提案を自社にて評価・試験し、エビデンスとして提供できる能力が必要
- 提案型企業への成長を目指し、製品評価試験室を阿賀工場に設置。顧客図面に従った特性評価に加え、顧客製品の機能・性能に対する評価を行える状態を整備する

「阿賀工場」概要



名称	シグマ株式会社 阿賀工場
所在地	広島県呉市阿賀南 8丁目39番31号
敷地面積	約20,080㎡
取得日	2025年3月21日

2025年3月に工場用地・建物を取得済み(取得額 1.6億円)

事業戦略（経営者のシナリオ）